

アrikunは、電車にのって、おでかけです。ホームには、たくさんのお虫が、電車をまわってました。『どこいこうかな』

わくわくします。行き先は、まだきめていません。あつ、むかで電車がきましたよ。アrikunがのると、プーと音がして、ドアがしまります。あいてるざせきがなかったの、アrikunは、リュックのおねえさんのそばに立ちました。

電車が動き出します。おねえさんは、すぐに、ポケットからスマカを出してみつめます。大きいカードのようなスマカのなかは、動いているみたいでした。そうです。まわりの虫たちも、スマカを見ていました。アrikunは、スマカをもっていないので、ひまでした。

まどの前には、背の高いバッタの若者たちが立っているの、けしきも見えませぬ。ち

ようど駅についたので、おりにしませんでした。『ここ、どこだろう』

きよろきよろすると、むこうのホームに、きみどり色の電車がとまっているのが見えました。アrikunは通路をわたって、電車の前にいきました。

『かつこいいい。いもむし電車か』

いもむし電車は、せんとうがもりあがり、目のような黒いもよう、ひとわくごとの白と黒のせん、すそには白いぶくぶくしたせんがひかれていきます。

一りようだけですが、ざせきはあいていました。きみどり色のざせきにすわると、ふかふかしてきます。

プーと音がして、電車が動き出します。シュー、ゴロゴロ、シャーシャー、ガタンゴトン、ガタンゴトン、カンカンカン、ゴロゴロ、キュー、いろいろな音がいそがしくかわっていきます。

まどの外は、田んぼ、学校、工場、いっばいの家、川、かんばんがあり、けしきが電車に見せるように、かわっていきました。

『ごじようしゃ、ありがとうございます。つぎはしゆうてん、うつくしのにわ』です。

ほうそうがあつて、電車がとまりました。うつくしのにわか。どんなところだろう？

アrikunがホームにおりると、花のかおりがしてきました。

かいさつを出たアrikunの目にとびこんできたのは、たくさんのお花ばなです。

『わあ』

赤やピンク色、きいろ、白色と、花がさきみだれていました。そこに、たくさんのお花はちようが、上にいたり、下へいたり、ひらひらとびかっています。

駅のほうから、いもむし電車のしゅっぱつする音がきこえてきました。

『いもむし電車さーん。ありがとう』

アrikunは手をふりました。(終)